

今年度の発掘調査はじまる

小牧山城

はっくつかわら版

第1号

20131118



史跡小牧山主郭地区第6次発掘調査

調査予定地 (主郭北西斜面)



今年度の史跡小牧山（小牧山城）の発掘調査を11月18日から開始します。今年には織田信長が小牧山城を築城して450年という節目の年、調査担当者はじめ作業員一同、さらなる成果が得られることを期待しています。今年度の調査は主郭（本丸）の

北西～北東の斜面で実施します。

土の中に眠る石垣がどのようにめぐっているかなど、戦国時代の小牧山城の姿を推定する手がかりを得るのが主な目的です。調査中は何かとご迷惑をおかけしますが、なにとぞご理解とご協力をお願いいたします。



発掘ひとくちメモ

～「小判はできるか？」～

小牧山城の調査現場をご覧になった方から一番多くいただく質問がコレです。大判・小判は安土桃山時代以降に製造される貨幣で、戦国時代の城である小牧山城から出土する可能性は残念ながらとても低いと思われます。

※このコラムの内容は昨年度の「はっくつかわら版」にも記載したのですが、ご質問を多くいただくため再掲しました。

調査中ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いします

小牧市教育委員会

